

(様式4)
令和7年11月10日

令和7年度 第2回 大阪市立東中本小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立東中本小学校
校長名 小坂元彦

日 時	令和7年 11月5日 (水) 午後6時00分から午後7時30分	
場 所	大阪市立東中本小学校 多目的室	
出席者	委員など	10名
	校園	小坂元彦 (校長) 橋本大樹 (教頭) 草薙真希子 (教務主任) 倉裕美子 (幼稚園主任)
	区役所	三島 (教育支援担当課長)
議題	<ul style="list-style-type: none">運営に関する計画 (中間評価) について学校評価アンケートについて全国学力・学習状況評価調査の結果と分析について	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	運営に関する計画の取り組み内容、中間評価について説明。	話し合い活動や交流活動は、勉強が苦手な子にとってもいい手立てである。 国語科の研究を進める中で、授業で筆者の伝えたいことに根拠を持って一人ひとり考えることはとても大切なことである。評価テストや受験などでもそうした点を評価するよう共通されるとよい。 ゆとりの日について、持ち帰って仕事をせざるを得ない教員もいるのに、教員の働き方改革につながっているのか、疑問である。 幼小の取り組みについて計画的に実施することで双方に良さが出ているのは、良いことである。
	学校評価アンケートについて説明。 全国学力・学習状況評価調査の結果と分析の説明。	学習に対して、意欲の高まらない子にどのようにアプローチをしているのか。 → 考えを互いに確かめ合ったり教えあったりすることや、各自の進め方に合う方法を選択できるよう個別最適化と共働的な学習を大切にする。 A・Iが普及している中、「A・Iを判断する知識を持つこと」「人じやないとできないこと」を大事にしてほしい。
協議資料	・運営に関する計画 ・学校評価アンケート ・全国学力・学習状況評価調査の結果	
備考	傍聴者[0]名	